

## 各キーごとの3つの和音（コード）の紹介

楽曲毎にご自身の歌声の音域に合うキーを探した後は、各キー毎に次に示す3つの和音（コード）を覚えましょう。これは右手で弾くものです。各キー毎に講師の秦万里子が「綺麗な響き、カッコいい」和音（コード）が推奨したものです。初心者の方は何も考えずに、絵に示した通りに弾いてください。ここで指使いを間違えると、例えば、同じ F コードや G コードでもカッコ悪い和音になってしまいます。ここでは和音（コード）の鍵盤の押さえ方が問題です。

例えば、コード F は、基本は「ファ、ラ、ド」ですが、このレッスンでの「キーC」で推奨する鍵盤の押さえ方としては、「ド、ファ、ラ」の順番で鍵盤を押しています。同様に、コード G では、基本は「ソ、シ、レ」ですが、キーC で推奨する鍵盤の押さえ方としては、「シ、レ、ソ」の順番で押しています。

まずは必ず、絵で示した指使いで和音（コード）を弾いてください。

なぜ、そのような押さえ方を推奨するかの理由は、[（紹介 YouTube 動画）](#)をご覧ください。

## 【キーCの場合】

和音（コード）は以下の、C、F、Gになります。右手は下記の鍵盤の上を押してください。  
なお、○印内の番号は指番号です。「1」は親指、「2」は人差指、「3」は中指、「4」は薬指、「5」は小指を意味します。



コードC(ド、ミ、ソ)



コードF(ファ、ラ、ド)



コードG(ソ、シ、レ)

【キーDの場合】

和音（コード）は以下の、D、G、Aになります。右手は下記の鍵盤の上を押してください。  
なお、○印内の番号は指番号です。「1」は親指、「2」は人差指、「3」は中指、「4」は薬指、「5」は小指を意味します。



コードD(レ、ファ#、ラ)



コードG(ソ、シ、レ)



コードA(ラ、ド#、ミ)

### 【キーEの場合】

和音（コード）は以下の、E、A、Bになります。右手は下記の鍵盤の上を押してください。  
なお、○印内の番号は指番号です。「1」は親指、「2」は人差指、「3」は中指、「4」は薬指、「5」は小指を意味します。



コードE(ミ、ソ#、シ)



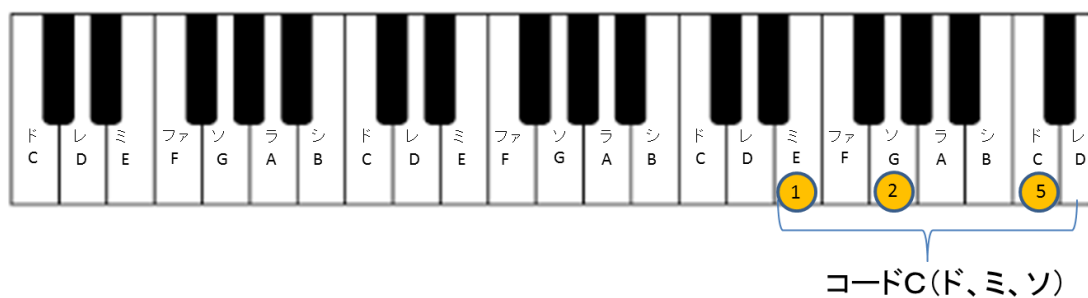
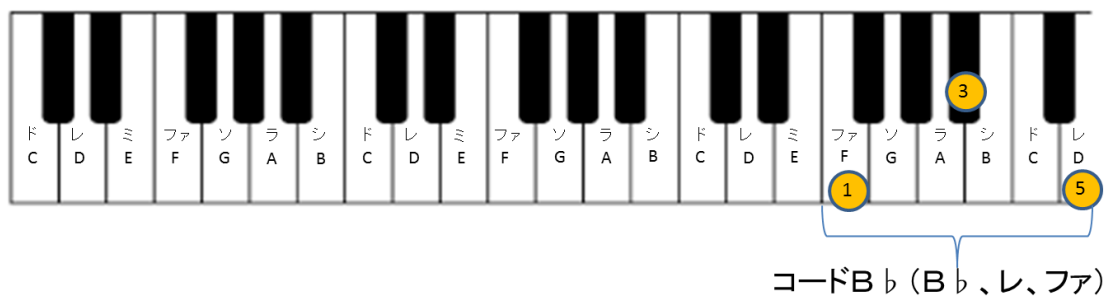
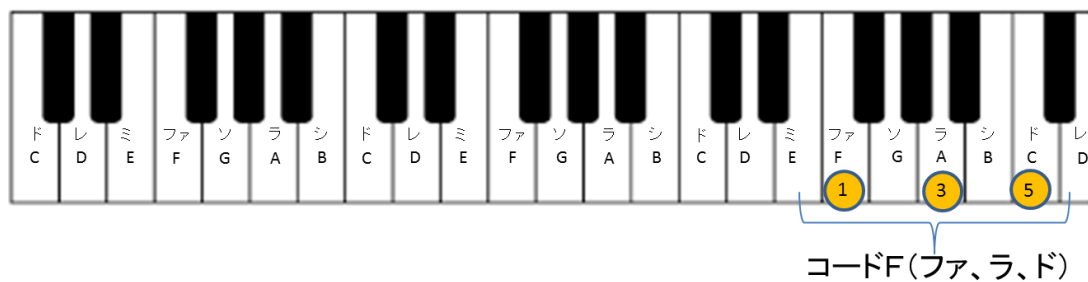
コードA(ラ、ド#、ミ)



コードB(シ、ド#、ファ#)

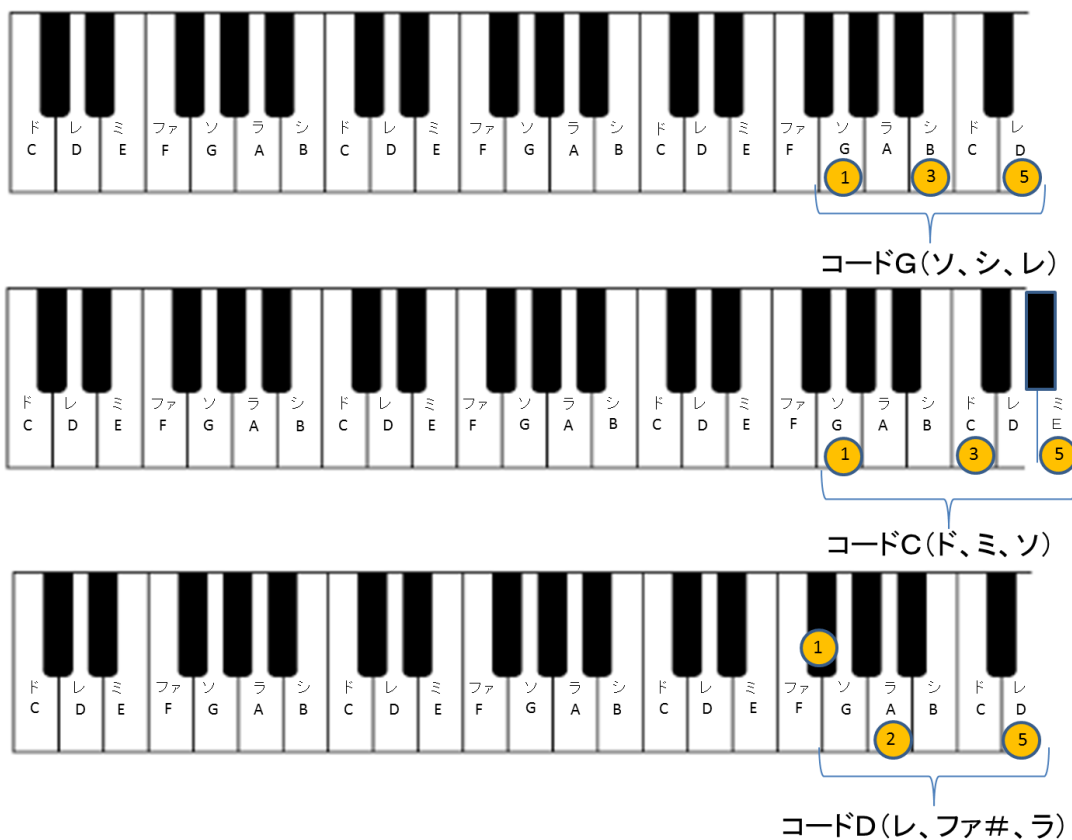
【キーFの場合】

和音（コード）は以下の、F、B $\flat$ 、C になります。右手は下記の鍵盤の上を押してください。なお、○印内の番号は指番号です。「1」は親指、「2」は人差指、「3」は中指、「4」は薬指、「5」は小指を意味します。



【キーGの場合】

和音（コード）は以下の、G、C、Dになります。右手は下記の鍵盤の上を押してください。  
なお、○印内の番号は指番号です。「1」は親指、「2」は人差指、「3」は中指、「4」は薬指、「5」は小指を意味します。



【キーAの場合】

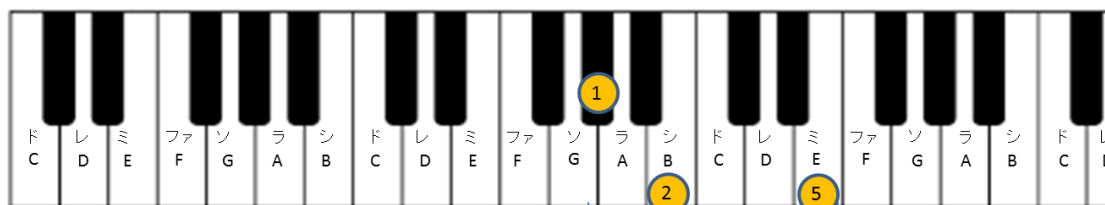
和音（コード）は以下の、A、D、Eになります。右手は下記の鍵盤の上を押してください。  
なお、○印内の番号は指番号です。「1」は親指、「2」は人差指、「3」は中指、「4」は薬指、「5」は小指を意味します。



コードA(ラ、ド#、ミ)



コードD(レ、ファ#, ラ)



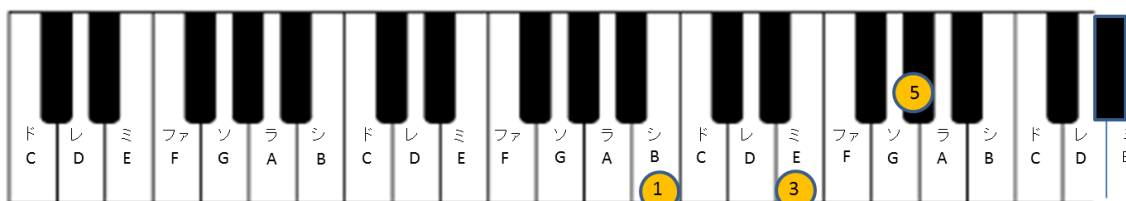
コードE(ミ、ソ#, シ)

### 【キーBの場合】

和音（コード）は以下の、**B**、**E**、**F#**になります。右手は下記の鍵盤の上を押してください。  
なお、○印内の番号は指番号です。「1」は親指、「2」は人差指、「3」は中指、「4」は薬指、「5」は小指を意味します。



コードB(シ、レ#、ファ#)



コードE(ミ、ソ#、シ)



コードF#(ファ#、ラ#、ド#)